

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名 株式会社 プロルート丸光 上場取引所 大  
 コード番号 8256 URL <http://www.proroute.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 佳央  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 安田 康一 (TEL) 06 (6262) 0303  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年3月21日～平成24年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,698	△13.9	59	—	28	—	24	—
24年3月期第2四半期	10,107	△15.6	△232	—	△319	—	△123	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 10百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △139百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第2四半期	円 銭 1.50	円 銭 —
24年3月期第2四半期	△7.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第2四半期	百万円 13,134	百万円 2,603	% 19.8
24年3月期	15,024	2,592	17.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,603百万円 24年3月期 2,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年3月21日～平成25年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,070	△8.8	163	—	14	—	6	—	0.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)—、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	18,399,340株	24年3月期	18,399,340株
25年3月期2Q	1,925,516株	24年3月期	1,924,947株
25年3月期2Q	16,474,049株	24年3月期2Q	16,899,499株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年3月21日～平成24年9月20日)におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景とする回復の動きが見られたものの、欧州の財政危機による世界的な金融不安の拡大や円高の長期化等により先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属する衣服・身の回り品業界におきましても、一部に震災影響の反動から緩やかな回復が見られるものの、実質所得の減少を不安視した消費者の節約志向は依然根強く、価格競争激化など、厳しい経営環境が続いています。

このような経営環境のなか、当社グループは今後の持続的成長の前提となる「黒字安定化」を実現すべく今期から中期3カ年経営計画をスタートさせました。「価値主義への企業変革」を基本方針として①収益力拡大 ②コスト変革 ③グループシナジー創出の戦略テーマを主軸に施策を推し進めております。

当四半期におきましては、売上高減少となりましたが、当社の主軸である婦人アウター部門を中心に全社粗利益率の改善や、前期より推し進めてきた効率化により物流費をはじめ販売管理コストの大幅削減を実現し、各利益段階においては予想数値を上回り、黒字化となりました。

以上の結果、当社グループ全体の当第2四半期連結累計期間の売上高は86億98百万円(前年同四半期比13.9%減)、営業利益は59百万円(前年同四半期は営業損失2億32百万円)、経常利益は28百万円(前年同四半期は経常損失3億19百万円)、四半期純利益は24百万円(前年同四半期は四半期純損失1億23百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## 卸売事業

当社並びに株式会社グローバルルートを合算した当第2四半期連結累計期間の売上高は85億99百万円(前年同四半期比13.7%減)、営業利益は80百万円(前年同四半期は営業損失1億98百万円)となりました。

## 小売事業

関東地区で小売業を営む株式会社サンマールの当第2四半期連結累計期間の売上高は99百万円(前年同四半期比29.2%減)、営業損失は21百万円(前年同四半期は営業損失34百万円)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は131億34百万円となり、前連結会計年度末に比べて18億90百万円減少いたしました。これは主として商品が1億74百万円増加する一方で、土地が17億39百万円、建物及び構築物が2億80百万円減少したことによるものであります。

負債合計は105億30百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億1百万円減少いたしました。これは主として短期借入金が7億93百万円、1年内返済予定の長期借入金が4億87百万円、長期借入金が4億35百万円減少したことによるものであります。

純資産は26億3百万円となり、前連結会計年度末に比べて10百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金が3億21百万円増加する一方で、資本剰余金が2億96百万円減少したことなどによります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて1億24百万円増加し、7億79百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による支出は10百万円（前年同四半期は91百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、仕入債務の増加1億55百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加1億76百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による収入は20億45百万円（前年同四半期は25百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、固定資産の売却による収入20億円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による支出は19億10百万円（前年同四半期は1億67百万円の収入）となりました。支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出9億23百万円、短期借入金の純減少額7億93百万円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績予想につきましては、平成24年10月25日に発表したしました数値に変更はありません。なお、開示が必要となりました場合は、速やかにお知らせいたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 重要事象等

当社グループは、過去2期間におきましては、売上高が大きく減少し、純損失を計上いたしました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、事業の効率化等をもって各段階利益は黒字化を実現しましたが、売上高が引き続き減少いたしました。あわせて資金調達の安定化が課題となってきました。

これにより、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していません。

これらに対処すべく、当社グループでは、すでに当連結会計年度から3カ年における「中期経営計画」を策定し、持続的成長の前提となる「黒字安定化」を実現すべく、「収益力の拡大」「コスト変革」「グループシナジー創出」の3つの戦略テーマにおける施策を展開し収益性の改善を推し進めております。また、全取引金融機関に対しましては、借入金及び社債の借換え又は条件変更等を要請し支援を得ております。

これらの具体的な対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	655,767	779,854
受取手形及び売掛金	1,496,520	1,490,365
商品	819,625	994,595
その他	82,428	57,115
貸倒引当金	△750	0
流動資産合計	3,053,592	3,321,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,782,711	2,501,780
機械装置及び運搬具(純額)	29,776	25,052
工具、器具及び備品(純額)	129,808	107,772
土地	8,079,811	6,340,178
リース資産(純額)	87,573	74,106
有形固定資産合計	11,109,681	9,048,890
無形固定資産		
のれん	138,539	126,981
その他	168,696	143,963
無形固定資産合計	307,236	270,944
投資その他の資産		
投資有価証券	146,971	139,213
差入保証金	369,165	318,385
その他	50,626	47,646
貸倒引当金	△12,957	△12,957
投資その他の資産合計	553,806	492,287
固定資産合計	11,970,724	9,812,122
資産合計	15,024,316	13,134,054

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	573,886	729,321
短期借入金	4,250,000	3,456,184
1年内返済予定の長期借入金	1,579,484	1,091,564
1年内償還予定の社債	314,000	314,000
未払法人税等	13,218	7,483
未払費用	322,279	271,372
その他	298,254	193,973
流動負債合計	7,351,122	6,063,898
固定負債		
社債	1,130,000	973,000
長期借入金	2,907,421	2,472,299
退職給付引当金	705,998	724,442
役員退職慰労引当金	42,629	40,398
資産除去債務	14,838	14,949
その他	279,991	241,880
固定負債合計	5,080,878	4,466,970
負債合計	12,432,001	10,530,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,861,940	1,861,940
資本剰余金	1,456,450	1,160,081
利益剰余金	△426,955	△105,869
自己株式	△364,133	△364,180
株主資本合計	2,527,301	2,551,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,780	52,283
繰延ヘッジ損益	5,233	△1,070
その他の包括利益累計額合計	65,014	51,213
純資産合計	2,592,315	2,603,185
負債純資産合計	15,024,316	13,134,054



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)
売上高	10,107,860	8,698,592
売上原価	7,975,928	6,734,875
売上総利益	2,131,932	1,963,717
販売費及び一般管理費	2,364,178	1,904,355
営業利益又は営業損失(△)	△232,246	59,361
営業外収益		
受取利息	58	42
受取配当金	4,675	2,407
受取賃貸料	6,559	6,475
金利スワップ解約損戻入額	—	20,129
その他	7,487	17,563
営業外収益合計	18,781	46,618
営業外費用		
支払利息	75,946	67,155
支払手数料	12,244	2,172
その他	17,437	8,498
営業外費用合計	105,628	77,826
経常利益又は経常損失(△)	△319,093	28,153
特別利益		
賞与引当金戻入額	19,268	—
貸倒引当金戻入額	125,000	—
役員退職慰労引当金戻入額	68,413	—
投資有価証券売却益	8,036	42
その他	4,076	—
特別利益合計	224,795	42
特別損失		
投資有価証券評価損	507	—
固定資産除却損	—	358
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,977	—
特別損失合計	23,484	358
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△117,781	27,837
法人税、住民税及び事業税	3,235	3,343
法人税等調整額	2,646	△223
法人税等合計	5,881	3,119
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△123,663	24,717
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△123,663	24,717

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△123,663	24,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,599	△7,497
繰延ヘッジ損益	△10,586	△6,304
その他の包括利益合計	△16,185	△13,801
四半期包括利益	△139,849	10,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△139,849	10,916
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△117,781	27,837
減価償却費	171,626	144,312
のれん償却額	12,564	11,558
固定資産除却損	—	358
投資有価証券売却損益(△は益)	△8,036	△42
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,977	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△124,800	△750
賞与引当金の増減額(△は減少)	△48,196	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△22,589	18,443
受取利息及び受取配当金	△4,734	△2,449
支払利息	75,946	67,155
売上債権の増減額(△は増加)	△59,575	6,154
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,999	△176,445
仕入債務の増減額(△は減少)	122,109	155,434
その他	△14,177	△189,363
小計	△13,667	62,204
利息及び配当金の受取額	4,734	2,449
利息の支払額	△76,101	△68,758
法人税等の支払額	△6,890	△6,685
営業活動によるキャッシュ・フロー	△91,924	△10,790
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△11,389	△3,353
固定資産の売却による収入	—	2,000,000
投資有価証券の取得による支出	△822	△831
投資有価証券の売却による収入	57,831	231
貸付けによる支出	△200	△1,790
貸付金の回収による収入	335	380
差入保証金の差入による支出	△28,910	—
差入保証金の回収による収入	199,505	50,780
事業譲受による支出	△190,757	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,592	2,045,415
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	800,000	△793,815
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△596,442	△923,042
社債の償還による支出	△157,000	△157,000
リース債務の返済による支出	△39,867	△36,373
自己株式の取得による支出	△185,598	△47
配当金の支払額	△53,656	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	167,434	△1,910,277
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,567	△260
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	99,536	124,086
現金及び現金同等物の期首残高	733,980	655,767
現金及び現金同等物の四半期末残高	833,516	779,854

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月21日 至 平成23年9月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	卸売事業	小売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,967,521	140,339	10,107,860	—	10,107,860
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,967,521	140,339	10,107,860	—	10,107,860
セグメント損失(△)	△198,136	△34,304	△232,441	194	△232,246

(注) セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「卸売事業」セグメントにおいて、事業の譲受けによりのがれんが発生しております。なお、当該事象によるのがれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては175,730千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月21日 至 平成24年9月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	卸売事業	小売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	8,599,199	99,393	8,698,592	—	8,698,592
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	167	194	△194	—
計	8,599,226	99,560	8,698,787	△194	8,698,592
セグメント利益 又は損失(△)	80,800	△21,429	59,370	△8	59,361

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

借入金及び社債の借換え又は条件変更等

当社グループは今後の持続的成長の前提となる「黒字安定化」を実現すべく当連結会計年度から中期3か年経営計画をスタートさせましたが、安定した資金を確保するため、当社は、全取引金融機関に対しまして、返済条件の変更を要請し、以下のとおり支援を得ております。

借入先及び 社債引受先の名称	株式会社三菱東京UFJ銀行ほか5行
借換え又は 条件変更の期間	平成24年9月30日から平成25年3月31日まで
借換え又は 条件変更の内容	上記の期間内に約定返済日が到来する借入金について、約定返済額と同額の手形借入による借換え、又は約定返済額の最終返済期日への繰延による借入金の残高維持 短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金 合計 1,035,113千円 上記の期間内に定時償還日が到来する社債について、償還額と同額の手形借入による借換え 1年内償還予定の社債 合計 157,000千円
借換え又は 条件変更による影響	借入利息の増減等の重要な影響は見込んでおりません。
その他重要な特約等	該当ありません。